



市内の挑戦者が実践事例を発表

県政知事懇談会 湯崎英彦の地域の宝チャレンジトークが開催・11/7

県政知事懇談会「湯崎英彦の地域の宝チャレンジトーク」が西城町のウイル西城で開催されました。市内での懇談会の開催は2年ぶりでした。

懇談会の前に、湯崎英彦知事は西城町熊野の「ゴギ」養殖場と熊野神社、イザナミ茶屋を訪問し、地域の取り組みを視察しました。



▲青ネギ農家の西野実さん



▲西城中学校の山本晴日さん



▲西城紫水高校生徒(左から、三谷敏実さん、三村鉄也さん、掛札悠太さん、引田久峰子さん)



▲トマトを通じて交流する栃木明美さん(左)と広島経済大学の川原慎さん(右)

消費者として正しい知識を

製品安全セミナー・10/28

県地域女性団体連合協議会などが主催する製品安全セミナーが庄原市ふれあいセンターで開催され、約100人が参加しました。

午前中は、家庭内の事故防止や製品の安全な使い方などについて講演。不注意や誤った使用方法によって身近にある製品から発火する再現映像が紹介されると、会場から驚きの声が上がりました。

午後は、製品を使って起こった「ヒヤッと体験」についてワークショップが行われ、参加者は「古い電気製品などは改めて点検をしたい。消費者である私たち自身が正しい知識を持つことが大切」と気持ちを新たにしていました。



▲ワークショップに取り組む参加者

午後からの懇談会では、約160人が傍聴し、立ち見客がでる中で、地域住民4組が「私の挑戦」をテーマに発表。

知事はそれぞれ興味深く質問し、西城紫水高校の生徒が宮城県石巻西高校との交流や射撃部の発足などについて発表した際には、「一歩前に踏み出すことをこれからも大事にして、頑張ってください」などと総括をしました。



▲湯崎英彦広島県知事



▲湯崎英彦知事と発表者で記念撮影

女性の自立について考える

ヒューマンフェスティバル2015 & 芸能祭・11/1

「ヒューマンフェスティバル2015 & 芸能祭」が総領自治振興センターとその周辺で開催され、約150人が来場しました。

午前に行われたヒューマンフェスティバルでは、心理カウンセラーでうつ病アドバイザーの塩谷亜子さんが、「より良い人間関係づくり～女性の自立～」と題し講演。塩谷さんは「自立して充実した人生を送るためには、視野の違う色々な人と接して、より良い人間関係を築くことが大事」と語りました。

午後からの芸能祭では、子ども神楽や民謡、紙芝居などのステージ発表が行われました。



▲塩谷さんの講演に耳を傾ける来場者

風情漂う時代絵巻

東城まちなみぶらり散歩ギャラリー・お通り

10月30日から11月5日までの7日間、街道東城路(東城町市街地)で「東城まちなみぶらり散歩ギャラリー」が開催されました。

城下町ならではの風情と人情が残るまちなみ約600mが丸ごとギャラリーとなり、各家のお宝をはじめ絵画や手作り品などが並びました。ギャラリーのオープニングセレモニーでは、東城保育所の「わんぱくお通り隊」のお通り行列や、錦城神楽団による神楽公演があり、大勢の観光客でにぎわいました。

11月3日には伝統行事「お通り」が開催されました。市街地を華やかな「お通り姫」や母衣、よらい武者などの行列が進み、沿道には見物客やカメラ愛好家が大勢詰め掛けました。また、東城高校生徒によるボランティアガイド「東城応援隊」は、英語でのウエルカムスピーチのほか、道案内やごみ拾いなどで活躍しました。

1~2_5~7_お通り 3・4_お通り会場の東城応援隊
8~10_東城まちなみぶらり散歩ギャラリー



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



秋の高野を満喫

2015 高野町文化祭・11/7,8

No.10

高野町文化祭が上高自治振興センターで開催され、生け花などの展示や茶会、芸能発表などが行われました。

発表会では、高野小児童19人によるダンスユニット「ペラ・バンピーノ」と、この秋に住民で結成された合唱サークル「ポコ・ア・ポコ」が初出演し、多くの来場者が温かい拍手と声援を送り、会場は盛り上がりました。また、香茸ごはんなど、この時季ならではのバザーもあり、来場者は高野の食・芸能・芸術の秋を堪能していました。

合唱サークル代表の落合薫さんは「地域の方との交流を楽しみながら活動し、歌声の輪を広げていきたい」と話していました。



▲合唱を披露する「ポコ・ア・ポコ」の皆さん

楽しく心身の健康づくり

庄原市民健康づくりグラウンド・ゴルフ大会・10/24

No.9

庄原市制施行10周年記念「第10回庄原市民健康づくりグラウンド・ゴルフ大会」が田総の里スポーツ公園で開催され、市内各地域の予選を勝ち抜いた30チーム150人が参加しました。

参加者は所属チームの枠を越えたグループに分かれて、18ホールをプレー。ホールインワンが多数出るハイレベルな戦いが繰り広げられました。

真剣勝負の中にも、多くの交流が生まれるなど、参加者は笑顔と汗が輝く健やかな時間を過ごしていました。

大会の成績は24ページに掲載しています。



▲ハイレベルな戦い

さわって、遊んで木のおもちゃ

木育キャラバン in 庄原・10/31、11/1

No.6

庄原ウッドスタート実行委員会主催の「木育キャラバン in 庄原」が、国営備北丘陵公園エントランスセンター国兼で開催され、2日間で約800人の親子が参加しました。

木の温かみと香りに包まれた会場では、親子が一緒に木のおもちゃを使ったり、どんぐりの形をした木の球が3,000個入ったプールに入ったりして遊んでいました。

保護者の一人は「手ざわりが優しく、壊れにくく丈夫なので、子どもと一緒に楽しめました」と話していました。



▲どんぐりの形をした木球が、いっぱい入ったプール

大きな声で町内に呼びかけ

比和幼年消防きららクラブ防火パレード・10/21

No.5

比和幼年消防きららクラブの防火パレードが行われ、比和保育所の園児たちが、比和町内を歩きながら住民の方々へ向けて防火を呼びかけました。

園児たちは地域で心をつなげて火事を無くしていくことを願い、「火の用心!」「絶対に火遊びはしません!」と大きな声を出し、拍子木を打ち鳴らしながら、歩を進めていました。

子どもたちのかわいらしくも熱い呼びかけに、沿道に集まった多くの方が、火の取り扱いには注意していること、改めて気持ちを引き締めている様子でした。



▲沿道の人に「火の用心!」と呼びかけ

高橋建さんが熱いエール

西城紫水高等学校PTA教育講演会・10/31

No.12

西城紫水高等学校PTA教育講演会がウイル西城で開催され、西城紫水高校の生徒のほか、地元住民も多く参加しました。

講師に元広島東洋カープの高橋建さんが登壇し、「夢に向かって!」と題して講演しました。高橋さんは「夢をつかみ取るには準備が肝心!」「アピールする努力ではなく、自分のために必要な努力をすることが重要」など、自身の体験談を交え講演。参加者は熱心に耳を傾けていました。

講演を聞いた男性は「とても参考になった。この話をヒントに西城紫水高校の生徒たちも夢に挑戦してほしい」と話していました。



▲西城紫水高校の生徒にエールを送る高橋さん

力作・秀作に目を奪われる

庄原市美術展覧会・しょうばら菊花展・11/1~18

No.11

市民の芸術作品が集う第11回庄原市美術展覧会が11月3日~7日(前期)、13日~18日(後期)の間、田園文化センターで開催され、工芸、書、洋画、写真など119作品が出品・展示されました。

観賞に訪れた人は「どの作品もすばらしく見とれてしまう」と一つ一つじっくりと眺めていました。

11月1日~14日には、かんぼの郷庄原で第28回しょうばら菊花展が開催され、個人27人と市内の4小学校から、色鮮やかな美しい菊約500鉢が出品されました。

観賞した人は「菊花展の時期に合わせて、美しくそろった花を咲かせる技術が素晴らしい」と絶賛していました。



▲菊花展に出品された作品

日常を忘れ音楽を楽しむ

ふれあいの丘秋のコンサート・11/1

No.8

口和郷土資料館で、ふれあいの丘秋のコンサートが開催され、約60人が楽しみました。

今回は、福山市在住のデュオ三木さんによるバイオリンとピアノの演奏が行われ、「千の風になって」「情熱大陸」など数十曲を披露。来館者は響き渡る旋律に聴き入っていました。演奏の合間にはユーモアを交えた2人の話で笑いが起きるなど、楽しいひと時となりました。

ピアノ演奏者の三木健嗣さんは「口和町は初めて来ました。こんなに盛り上がったコンサートになってうれしい。また演奏に来たいです」と話していました。



▲演奏曲に酔いしれる来館者の皆さん

備北の丘に子育ての輪が広がる

第15回こどもまつり・10/18

No.7

第15回こどもまつりが、国営備北丘陵公園で開催され、約2,800人が来場しました。

国兼池を望む湖畔広場を会場に、巨大ボーリング、白バイの試乗体験、乗馬体験などのコーナーが設けられ、会場いっぱい子どもたちの笑顔が広がりました。

シンガーソングライターきくちレイコさんのステージやキッズファッションショー、庄原こどもミュージカルなどによるフラッシュモブも行われました。

また、子育てを応援する市内の団体から約400人が運営スタッフとして参加し、地域社会で子どもを育むネットワークづくりを目指して力を合わせました。



▲子どもたちのダンスが突然始まるフラッシュモブ